

M I U 通 信

まだまだ厳しい猛暑が続き、さらには台風・大雨とエリアによっては心労が絶えない現状ではありますが、どうかご自愛ください。私はパリにパラリンピックを観戦しに行かせて頂きます。

2024年10月1日からの選定療養導入について

10月1日から、医療上の必要性がある場合や後発品が入手困難な場合を除き、患者が「後発医薬品でなく先発品（長期収載品）を使いたい」と希望した場合には、両者の差額の4分の1を患者自身が負担する仕組み（選定療養）が導入されます。使用感や味などの薬の有効性に関係ない理由で先発品を希望した場合にこの特別の料金を患者が負担することになります。生活保護受給者はこの特別の料金を徴収するケースは発生しません。すべての先発医薬品がこの特別の料金を支払う対象になるわけではなく、長期収載品と呼ばれる同じ成分の後発医薬品がある先発医薬品が対象となります。患者の希望で先発品を希望した場合、医師が医療上の必要性があるために、後発医薬品の処方の変更に差し支えがあると判断した場合のチェック欄を設けるなど処方箋のフォームも変更となります。

今更ですがIntelMacとAppleSiliconはこんなに違うんです！

Macは2019年以前は全てintel搭載モデルでしたが現在はAppleSilicon搭載に変わりました。

ユーザーから「IntelMacが良かったな～」と言う声を聞くことがあります。理由は

- ・ BootCampでWindowsが起動できる
- ・ モデルによってはメモリの交換・増設が出来る
- ・ 一部のiMacでディスプレイとして使用するターゲットディスプレイモードが搭載されている

しかし、AppleSiliconになってIntelに比べCPU、メモリ、グラフィック(GPU)をSoCと言う1つのチップに纏めた事で

- ・ 処理速度がIntelより圧倒的に早い
- ・ バッテリーの持ち時間が圧倒的に長い
- ・ 発熱が殆どないのでファンが回る事が殆どない

等システム系が圧倒的に上回っており、私はもうIntelに戻れません！今秋に登場するmacOS15 Sequoiaは、Apple Silicon搭載モデルだけでなく一部のIntelMacでも利用可能ですが「Apple Intelligence」機能やiPhoneミラーリング機能は制限される様です。

MacではかどるAI活用

生成AIでまず思い浮かぶのがChatGPTですが、Appleの次世代プラットフォームであるiOS 18、iPadOS 18、macOS SequoiaにChatGPTへのアクセスを統合し、ユーザーがツール間を行き来することなくChatGPTの機能を呼び出せるようにする「Apple Intelligence」が発表されました。

ChatGPTを使用すれば、テキストの生成や校正に使ったり、アイデア出しや情報の整理をしたり、言語の翻訳や語学学習に使ったり、プログラミングのコードなどを生成することができます。

また、有料版では画像の生成も可能となっています。

ChatGPT以外にもMicrosoft CopilotではOfficeアプリと連携できたり、Googleが発表したGeminiや高品質な画像が生成できる「Stable Diffusion」や「Midjourney」、動画生成の「PixVerse」、楽曲生成の「Suno AI」など色んなAIサービスがあります。

これら生成AIを活用して日頃の作業の効率化を図ってはいかがでしょうか。

